

## 複合施設の ZEB(ゼブ)化に向けた基本的方針

### 1. 背景

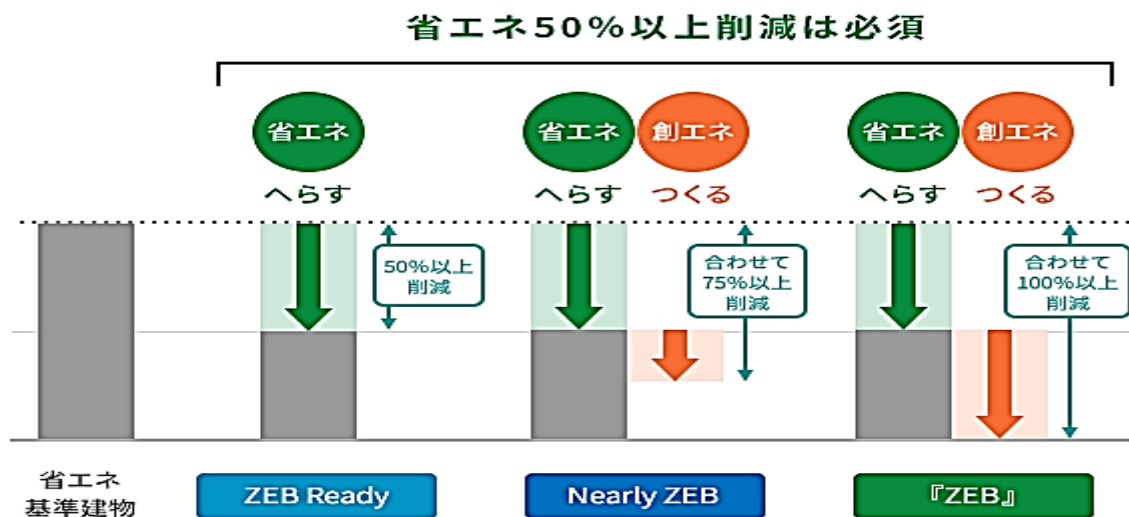
令和3年3月に、環境に関する諸問題を計画的に解決していくため、SDGs(持続可能な開発目標)の考え方を取り入れた「第3次白河市環境基本計画」を策定しました。

令和3年10月17日には、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指すため「ゼロカーボンチャレンジしらかわ」を宣言しました。

市の取組として、「公共施設へ高効率空調や省エネルギー型の設備の導入・更新を図る」ことを掲げています。

### 2. ZEB(ゼブ)の種類

ZEB(ゼブ)とは、省エネと創エネを組み合わせて、快適な室内環境を実現しながら、年間の一次エネルギー消費量の削減を目指した建物のことです。一次エネルギー※消費量を50%削減する建物を「ZEB Ready(ゼブレディ)」、75%以上削減が「Nearly ZEB(ニアリーゼブ)」、100%削減が「ZEB(ゼブ)」として区分されています。



ZEB Ready(ゼブレディ)は省エネのみで対応可能ですが、Nearly ZEB(ニアリーゼブ)以上を目指す場合には太陽光発電等の創エネも必要となります。

### 3. 複合施設の ZEB 化に向けた基本的な考え方

「第3次白河市環境基本計画」により公共施設の省エネルギー化を推進していること、「ゼロカーボンチャレンジしらかわ」宣言により脱炭素化社会の実現に向けた意思表示をしたこと、また、複合施設が災害時の避難場所となることを想定していることから災害時の機能維持の観点も踏まえ、環境に配慮し、省エネルギー性能を高めた施設の実現を目指すこととしました。

これを踏まえ、基本設計においては、コスト(イニシャル・ランニング)、施設の利便性、内外的な PR 等、メリット・デメリットを総合的に勘案し、Nearly ZEB(ニアリーゼブ)の取得を目標とします。

「一次エネルギー」：化石燃料、原子力燃料、水力・太陽光など自然から得られるエネルギー

「二次エネルギー」：一次エネルギーを変換・加工して得られるエネルギー(電気、灯油、都市ガス等)